

とよつだより

第 1 4 号

平成20年6月1日発行

編集・発行

広報記録専門部

題字 藤枝 泰一郎

今年度よろしく申し上げます。



まちづくり委員長 飯島 亘隆

未知の駅へ

万緑の候、いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。

まちづくり委員会の活動に常日頃からご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

まちづくり委員会活動は市の「協働のまちづくり」の一環として、地域活動の拠点「地区公民館」から「まちづくりセンター」に軸足を移し、数年を経ました。今は諸団体との関係も含めて、組織と事業の再点検をする時期と思われま

さて、忘れかけた言葉に「旦那」があります。語源を調べると仏教用語（サンスクリット語）で「布施」を意味する「dana」に由来し、英語ではドナー（提供者）へと変遷したといえるでしょう。

体の活力には、好きなことに知恵と汗を出すのが有効といわれます。地域の活性も同じではないでしょうか。未知の駅から明日へのたびに出かけましょう。

センター長 薄井 正夫

さらなる前進を



このたび、地域の皆様から推薦を頂き、若輩の私がセンター長という大役を引き受けることとなり、その職責の重さを痛感しておりますが、地域の皆様と一緒にまちづくりセンターの役割を果たしていきたいと思っております。

センター（公民館）も、平成十六年四月から「地域管理型、協働のまちづくり」へと大きく変わり四年が経過いたしました。この間、地域の皆様、まちづくり委員の皆様、石上前センター長が、協力し合いながら「集い学び、ふれあいの場」としての活動を行い、また地域の課題等に取り組み、まちづくりが進められてきました。

本年度は、この四年間の活動実績を踏ま

え更なるまちづくりを進めてまいりたいと考えています。まちづくりセンター（公民館）は、地域の皆さんの学習の場として、健康づくり、また心の安らぎの館として、地域づくり等のさまざまな活動を通して、地域住民の親睦と融和を図りながら、誰からも愛され、そして皆さんが気安く来られるようなセンター（公民館）を目指して行きたいと思

一人一人の力を結集した新しい地域（まち）づくり実現のため、ご指導ご協力を心からお願いいたします。

前まちづくり委員長 君和田 元浩

豊津らしく



「協働のまちづくり」を目指して発足した豊津地区まちづくり委員会も、平成二十年度で五年目を迎えました。

四年間、役員の一人として委員会事業に携わってきましたが、地区住民の皆さん・まちづくりセンターの皆さん等大勢の方々にご協力をいただきながら、無事に事業を展開することができました。紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今年度は、実践者の一人としてまちづくり委員会に携わっていくことになりました。生まれ育った地である豊津地区の住民として、さらに「豊津らしい事業」の展開に協力していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

前センター長 石上 方雄

思いやりに感謝

新緑の候、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私の度、三月三十一日を以って豊津まちづくりセンター長を退任致しました。在任中は、公私にわたり大変お世話様になり、厚くお礼申し上げます。



長い歴史と伝統のある公民館活動から住民主体のまちづくりの新たな課題にやささかの戸惑いはありましたが、委員長さんをはじめ地域の皆様の深いご理解とご協力により、「あわてず・あせらず・じつくり」とを合言葉に、充分な話し合いと関係団体との連携を密に取り組みで参りました。

二期四年間の多くの出逢いと沢山の思い出は、私にとって終生忘れられない貴重な体験となり、地域の皆様の豊かな人間性と思いやりにあらためて感謝申し上げますと共に、職員の皆さんには常に非力な私を支えていただき本当にありがとうございます。今後は、一委員としてまちづくり活動に参加できればと願っています。

豊津地区まちづくり委員会の益々のご活躍と、皆様方のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

職員移動

☆退職 本宮 和子
☆採用 藤城 知子



平成20年度
役員紹介

◆委員長	飯島 亘隆	◆文化福祉部	部長 海老沢 良政
◆副委員長	和田 勉	部長 青野 次雄	
◆監事	黒須 ゆき	副部長 青野 次雄	
◆幹事	宮崎 幸子	◆広報記録専門部	
	松尾 恵子	部長 浜田 善久	
	笹本 晴美	副部長 君和田 正子	
◆地域環境専門部		◆スポーツ健康づくり専門部	
部長 隅本 祐司		部長 山町 重信	
副部長 田本 祐司		副部長 安重 松雄	

第26回霞ヶ浦浄化キャンペーン北浦一周サイクリング

主催 豊津スポーツ父母の会
会長 大川 正美
共催 豊津地区まちづくり委員会



風薫る五月というにはいささか強い風が吹く中、豊津小学校の児童、教師、保護者、豊津まちづくり委員、まちづくりセンター職員総勢六十三名が、午前七時三十分、元気に小学校を自転車で出発しました。

今回で二十六回を数えるサイクリングですが今年も北浦浄化を北浦周辺の住民や釣り人に訴えながら、北浦を一周するコースで行われました。全行程七十キロに及ぶ長距離のサイクリングですが、一人の落伍者もなく、無事完走しました。小学校に入ったばかりの一年生など、ついてこれるかどうか心配されましたが、堂々と先頭集団を走ってきました。

六年間連続完走者は、桐生貴子さんと富山美香さんの二名で、表彰状と記念の盾が贈られました。

また、長年この事業にご尽力されました箕輪礼子さんに感謝状が贈られました。

この活動が北浦浄化に微力ながら貢献していることは、誇りに思います。北浦沿岸に住む豊津地区の住民として、北浦浄化は切実な願いであり、今後もこの活動が続いていくことが望まれます。



桐生 貴子さん



富山 美香さん



六年間で晴れの日、雨の日、風の強い日、いろいろなありました。いつも足やおしりが痛くなりますが、北浦を見たり、友達と話しながら走る北浦一周サイクリングは、とても楽しい行事です。

ずっとこの行事が続き、早く北浦がきれいになってくれるといいなと思います。

私は姉や兄と一緒に参加したくて、小学校入学前の年から参加しました。この七年間には、北浦一周や利根川まで行くコースなどいろいろ変わりました。距離も短くなったり長くなったりしました。自転車一回転したり、北浦に落ちそうになったりしたこともありましたが、でも北浦をきれいにしようという運動に参加できたことは私の自慢です。

表彰していただいてありがとうございます。

5月18日 第1回とよつキッズ スイカの苗の植え付け風景



5月18日第1回豊津クリーン ご協力ありがとうございました。



5月25日 第1回楽学セミナー 「特定健診制度を学習」

無理なく、楽しく とよつ悠々健康づくり



講話

講師 市国保年金課 池田香代美保健師

特定健診を受けて
メタボの予防と改善を
しましょう！
食事のコントロールと
適度な運動を
無理なく長続きさせる
ことが大切です。



メタボ予防体操

毎朝、9時になると
まちづくりセンターでは
ラジオ体操がはじまります。

